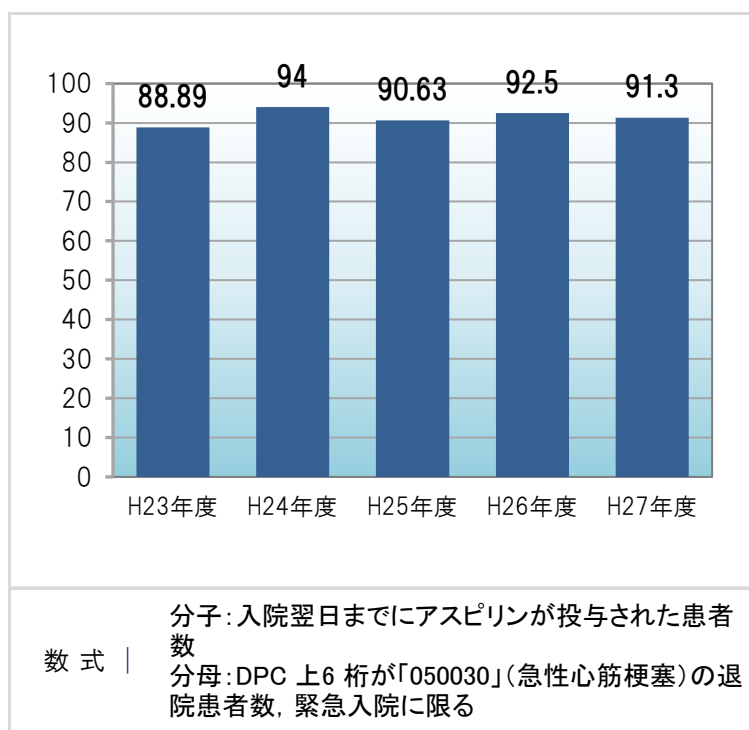


9 急性心筋梗塞患者における入院当日もしくは翌日のアスピリン投与率

● 項目の解説

アスピリンは抗血小板作用があり、急性心筋梗塞の予後を改善するのに有効とされています。適切に診療プロセスが把握できるかを表す指標です。

● 当院の実績



単 位 | %

期 間 | 年間

備考・コメント

アスピリン禁忌例や、意識状態が悪くて服用ができないなどの例もあり、必ずしも100%にはなりません。

平成27年度国立大学病院平均値 88.75%

● 定 義

急性心筋梗塞患者における入院当日もしくは翌日のアスピリン投与率(%)です。

分子: 入院翌日までにアスピリンが投与された患者数です。

分母: 最も医療資源を投入した病名が急性心筋梗塞の患者で、且つ緊急入院した患者数、緊急入院に限ります。再梗塞を含みます。